

日本人間の婚姻 (日本方式)

受理 平成 年 月 日
第 号



婚姻届

送付 平成 年 月 日
第 号

平成 年 月 日届出

大使館
総領事

書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知
------	------	------	-----	----	-----	----

戸籍の記載
通りに記入

(1)

(よみかた)	夫になる人	妻になる人
	やまだ えいいち 氏 名	こばやし かずみ 氏 名
氏名	山田 英一	小林 和美
生年月日	昭和44年 3月 18日	昭和48年 11月 19日

日本の年号
に記入

日本文字
に記入

(2)

住所	フランス国パリ市オ8区 オッシュ 大通り7番 号 世帯主の氏名 山田 英一	フランス国オドセヌ県ヌイシユル セヌ市パスカル通り番 号 世帯主の氏名 小林 和美
----	---	---

(3)

本籍	東京都千代田区丸の内 1丁目1番 筆頭者の氏名 山田 誠	大阪府吹田市岸田町 2丁目16番 9 筆頭者の氏名 小林 正紀
父母の氏名 父母との続き柄 (他の養父母は その他の欄に 書いてください)	父 山田 誠 続き柄 母 千里 長男	父 小林 正紀 続き柄 母 智子 三女

(4)

婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	<input checked="" type="checkbox"/> 夫の氏 <input type="checkbox"/> 妻の氏 新本籍 (左の四の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) 東京都千代田区丸の内1丁目1番
----------------	---

(5)

同居を始めたとき	平成8年 10月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください)
----------	--

(6)

初婚・再婚の別	<input checked="" type="checkbox"/> 初婚 再婚 (<input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離婚 年 月 日) <input checked="" type="checkbox"/> 初婚 再婚 (<input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別 年 月 日)
---------	---

(7)

同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事	<table border="1"> <tr> <td>夫</td> <td>妻</td> </tr> <tr> <td>夫</td> <td>妻</td> </tr> <tr> <td>夫</td> <td>妻</td> </tr> <tr> <td>夫</td> <td>妻</td> </tr> <tr> <td>夫</td> <td>妻</td> </tr> <tr> <td>夫</td> <td>妻</td> </tr> </table> <ol style="list-style-type: none"> 農業だけまたは農業とその他の仕事を持つ世帯 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世界(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 仕事をしている者のいない世帯 	夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻
夫	妻												
夫	妻												
夫	妻												
夫	妻												
夫	妻												
夫	妻												

(8)

夫妻の職業	(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) 夫の職業 会社員 妻の職業 学生
-------	---

平成 年 月 日 の方式により婚姻成立、作成の
婚姻証書添付。

その他
夫妻の日中ご連絡できる
電話番号を記入

届出人署名押印	夫 山田 英一 印	妻 小林 和美 印
---------	-----------	-----------

事件簿番号 Tel. 06-5678-1234 (夫) / 07-1234-5678 (妻)

本籍地はダッ
シュ(-)な
どを使わず
戸籍の通りに
×丸の内1-1
丸の内1丁
目1番地

証		人	
署 押	名 印	尾形二郎 印	河西晴子 印
生 年 月 日		昭和 38 年 2 月 23 日	昭和 42 年 8 月 14 日
住 所		フランス国イヴリンヌ県ヴェルサレ市 オスマン通り 9 番 号	フランス国パリ市第15区 ニコロ通り 17 番 号
本 籍		神奈川県横浜市中央区 宮前町4丁目 6 番	静岡県浜名市旭 3丁目 21 番地

記入の注意

1. 届書はすべて日本語で書いてください。

この届書は長年保存されますので、鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

2. 筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

3. 日本と外国の二つの国籍をもっている人は、日本人として本籍欄を書いてください。

当事者の一方が外国人のときは、本籍欄に「国籍何国」とだけ書いてください。

4. 父母がいま婚姻しているときは、母の氏は書かないで名だけ書いてください。

養父母についても同じように書いてください。

5. □にあてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。ただし、外国人と婚姻する場合にはつけなくてください。

外国人と婚姻する人がまだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書いてください。

6. 届を出す日に同居を始める人は、その日に同居したもとしてその年月を書いてください。

まだ同居を始めていない人は、その他の欄に「まだ同居を始めていない。」と書いてください。

7. 再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。

内縁のものはふくまれません。

8. 夫、妻にあてはまると思うものに夫、妻のようにしるしをつけてください。

9. 在留国の法律で婚姻したときは、婚姻した日から3か月以内に婚姻証明書をそろえて出してください。この場合は証人欄は書かず、「その他」欄に婚姻成立年月日、婚姻の方式及び婚姻証書作成者の職名を記載してください。

外国文の証明書には翻訳者を明らかにした訳文を添付してください。

当事者の一方が外国人のときは、在留国の法律で婚姻してから出してください。この場合、外国人の国籍を証する書面（旅券写し等）を提出してください。

10. 未成年者が婚姻するときは、父母（養子のときは養親）の同意書を出すか、または父母がその他の欄に同意の旨をを書いて署名押印してください。

11. 届出人や証人の署名は、はっきりとよめるようにそれぞれ本人が書いてください。なお、外国人が外国語で署名する場合は、その「よみかた」をカタカナで併記してください。

12. 夫婦がともに日本人のときは、届書3通（新しい戸籍がつくられる場合に今までと別の市区町村につくりたいときは4通）夫婦の一方が外国人のときは、届書2通出してください。そのさい夫と妻の戸籍抄本各1通が必要です。